

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	厚木金田物流センター開発計画A-2区	階数	地上2F
建設地	神奈川県厚木市金田字新神明下1419番1 ほか	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	70 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年9月 0.0	評価の実施日	2012年1月17日
敷地面積	10,587 m ²	作成者	(株)フジター級建築士事務所
建築面積	4,706 m ²	確認日	
延床面積	8,648 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 建設: 100%
 修繕・更新・解体: 100%
 運用: 91%
 オンサイト: 91%
 オフサイト: 94%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

機能性	耐用性・信頼性	対応性・更新性
N.A.	3.2	4.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

生物環境	まちなみ・景観	地域性・アメニティ
3.0	3.0	2.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物の熱負荷	自然エネルギー	設備システム効率化	効率的運用
N.A.	3.0	4.6	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

水資源保護	非再生材料の使用削減	汚染物質回避
3.4	3.4	3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化への配慮	地域環境への配慮	周辺環境への配慮
3.3	3.5	3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 建物を敷地北側国道に寄せて配置し、敷地南西、北東にまとまった緑地を確保した。 倉庫は十分な階高さ、床荷重を持たせて、長く使用できる建物とした。 	
Q1 室内環境 (倉庫のため、評価対象外)	Q2 サービス性能 ・倉庫として十分な階高さや積載荷重、空間のゆとりを確保。 ・乾式の防火区画壁により、フレキシビリティを高めた。
LR1 エネルギー ・倉庫照明を高効率Hf蛍光灯を採用、CEC値を低減。 ・非常用発電設備を備えている。	LR2 資源・マテリアル ・節水機器を使用。 ・雨水の浸透貯留水槽を設置している。 ・仕上りにリサイクル材を使用。
	Q3 室外環境 (敷地内) ・建物を敷地北側国道に寄せて配置し、敷地南西、北東にまとまった緑地を確保した。 ・敷地境界沿いは中木を列植して、車輛を隠すよう配慮した。
	LR3 敷地外環境 ・周囲に影響を与えないよう協議し、交通を計画。 ・周辺農地に配慮して外構照明を配置。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい